

第4回 運営推進会議開催報告書

事業所名 デイサービスつどい場みち
開催日時 平成30年3月1日(木) 14:00~15:30
開催場所 治田寺 庫裏(和室)

出席者 <委員6名>

利用者代表 谷山 慶 様
利用者家族代表 三木 キクエ 様
戸ノ内地区社会福祉連絡協議会 会長 山口 昇次 様
尼崎市民生・児童協力委員 比嘉 尚子 様
園田南地区地域包括支援センター 管理者 山本 美保 様
(代理 熊本様)
尼崎医療生活協同組合 戸ノ内診療所 看護師長 岡村 ひで代 様

<事務局3名>

特定非営利活動法人つどい場みち 理事長 兼
デイサービスつどい場みち 管理者 浦田 美智子
NPO 法人つどい場みち 事務長 浦田 俊弘
NPO 法人つどい場みち 事務員 浦田 宏子

会議概要

1. 理事長挨拶

開設して7年目を迎え、無事に指定更新され、新たな節目に立っていると認識しています。この間様々な介護保険制度の改正があり併せて介護報酬の減額があり大変な時期もありましたが、小さな規模のデイだからこそお一人おひとりのご様子が目に届き、きめ細かなサービスが提供できるのではないかと自負しております。

どうぞ今後とも変わらぬご協力、ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

2. 平成29年度活動報告

①利用状況

別添資料をもとに、理事長より説明。

利用者は要介護1~3が多く、比較的元気な方がメイン。要支援の方が約三割。要支援の方は受け入れないデイサービスも多い中、つどい場みちでは地域(戸ノ内)の方を中心にご利用いただいている。利用者平均年齢は84歳。最高99歳。

しかし毎朝午前中に行う脳と体の体操を通じて、年齢に関係なく鍛えたら鍛える

ほど脳も体も若く元気になれるのに驚いている。居住地区別でみると戸ノ内の方が 38 名中 18 名ご利用。地域密着型デイサービスとして地域に根付いてきている。

②活動報告

理事長より説明。

特徴として、㊦ 要支援の割合が多いこと。軽度だから元気な方なのかということではなく、結構介助が必要な方が多く、転倒リスクの高い方も多い。

㊧ 毎朝の体操では下肢筋力を鍛える体操等により体の痛みが改善されたり、車椅子の方が独立歩行されるようになれる方も多い。体操の場はいろいろな情報提供・情報交換の場ともなっている。

㊨ 夕食サービスの提供をしているが、独居の方の利用が多いということもあり、凡そ 8 割の方が利用されている。昼食とともにすべて手作りなので人気。旬の食材を使用している。

㊩ 宿泊サービスの提供。ご家族の急な留守や病気になられた時などに利用されている。善法寺デイの方も利用されている。宿泊者 3 人が限度なのでお断りすることもある。

㊪ 毎朝お迎え時に、起床介助、服薬管理、戸締りなどのきめ細かなお手伝いもさせていただいている。できるだけご自宅で最後まで過ごすことができるよう援助をしたい。

㊫ 地域との連携を大切にしている。陶芸・絵画・書道などの文化教室には地域の方も参加されている。また地域主催の作品展への出展や、消防訓練、演芸会への参加などしている。これまで町会の昼食会などに招かれ、ご一緒に体操したり、認知症の勉強会などお話する機会があったが、これからもそんな機会があれば協力したい。

㊬ 最後に今年度の嬉しい報告として、日本財団から福祉車両 1 台（車いす付き軽自動車）を 3 月に寄贈してもらえることが決定している。

③目で見える活動報告・・・スライド映写

前回の運営推進会議（6/20）以降の事業：

夏祭り（7/20）、クリスマス会（12/21）、遠足（淡路うず潮クルージング 10/12）、作品展、防災訓練、文化教室、日々の活動

3. 平成 30 年度活動予定等

①介護保険制度の改正

つどい場みちにとっては大きな変更なし。介護報酬についても地域密着型はほとんど変わらないが主な変更点としては、①サービス時間が 3 時間刻みから 1 時間刻みになる。できるだけ長くサービスを提供することがよい、と言われている。②高額所得者の負担が 3 割負担となる。③加算要件が増える。

②事業予定

桜コンサート（4/5）、日本財団福祉車両のお披露目（桜コンサート時）、
夏祭り（7/19）、遠足（行き先は皆で決める 10/18）、クリスマス会（12/20）
日々の活動の充実・・・文化教室（陶芸・絵画・書道）、境内での体操、昼食、外出等、毎月の誕生会
平成30年度総会 5月26日（土）14時～16時

4. 29年度及び30年度の活動に対するご意見・ご感想

山口様：利用者の方が喜ばれていたらそれが一番。家に閉じこもりっきりの方に出てきてもらうよい機会。特に男性はなかなか出てこない。そこが課題だと思う。

熊本様：利用されている皆さんが満足されていることが素晴らしい。職員の皆さんが様々な工夫をされて利用者のことを考えているのがよくわかる。包括（園田苑）でも、地域の人が集える機会を作っている。子供対象のこども食堂や、高齢者対象のやろうカフェなど。今後も地域が連携していけるとよい。

岡村様：医療の方からも、地域との連携をはかっている。園田南包括やケアマネにすぐに相談したり、訪問診療している。

比嘉様：作品展を観て思うが、つどい場みちの利用者の皆さんは、地域にとけこんでいることが感じ取れた。とても良いことだと思う。

谷山様、三木様：何も言うことありません。デイサービスつどい場みちを心から楽しんでいる。利用者同士が親戚兄弟のようになんでも話せる。互いを心配しあえる仲だと思う。

5. 最後に事務長より挨拶

第4回運営推進会議にご出席いただき、また、委員の皆様の貴重なご意見や感想などに感謝申し上げます。みち通信の発行も優先課題として進めたいと思います。誠にありがとうございました。